

# アクアセレクト（に近い水脈）で育てる、めっちゃ美味しいお米の田んぼのオーナープロジェクト

株式会社 Beautiful Life アクア事業部ジェネラルマネージャー 竹本 大輔

私たち、「株式会社 Beautiful Life」は、2008 年度より三重県多気郡大台町浦谷地区において、過疎化の進む浦谷地区の村おこしの一環として「めっちゃ美味しいお米の田んぼのオーナープロジェクト」を実施しています。

初年度は、23 組約 50 名様、次年度（本年）については、33 組 101 名様にご賛同およびご参加頂きました。

## 大台町と RO 浦谷地区の概況

大台町は、三重県の南西部に位置します。その中でも浦谷地区は、特に山間部に位置する地区で、戸数は 12、住民は 24 人と小規模な集落であり、高齢化率は 60% 近くにはのぼります。「限界集落」と呼ばれる地区で、地域住民の中には、そのような呼び名に非常に抵抗感があり、自分たちで何とかせねば、という機運がありました。

また大台町には、宮川という日本有数の多雨地帯である大台山系を源流とする一級河川が流れています。この宮川は、全国の一級河川を対象とした国土交通省の水質調査で全国 1 位になるなど、全国有数の清流として知られています。この宮川の源流域から中流域にわたり、豊かな自然に恵まれた地域ではありますが、過疎化により後継者がいないということや、谷が狭隘で日照時間が短く、さらに谷水が冷たいという稲作にはやや適さないという条件などのため、稲作を放棄する農家が増えている現状があります。

## 株式会社 Beautiful Life の本業

弊社は、HOD（ウォーターサーバーを使用した水の宅配事業形態）手法により、ナチュラルウォーター

「アクアセレクト（原水については、大台ヶ原を源流とする宮川の湧水）」を自社で宅配をしている食品商社です。HOD 業界は近年大きく伸びている業界です。弊社は、大台町地区内の有志で立ち上げた（有）森と水を守る会が運営する工場から水を仕入れ自社ブランドの製品化を行っています。そもそもこのような形で旧宮川村（現在は大台町）の水の宅配に乗り出した背景は以下のようなものになります。

都市部からの経済的外貨獲得のための資源が少なく、農林業などの第一次産業の衰退により今後十年で消滅する可能性を持つ集落があるなど、少子過疎高齢化の進展が顕著です。よってこれを解消する為、第一次産業との関わりが深い「水資源」を活用した雇用促進、及び経済波及効果向上に繋がるのではないかと考え、実践しております。そもそも他社 HOD 事業については、物流コストの低減を考え、RO（逆浸透）水の取り扱いや、都市部にボトリング工場を設置するケースが多く、また天然水工場およびその広大な敷地についても、都市部の企業所有がほとんどです。

しかしながら弊社は、現在の過疎化・高齢化問題の有効的な打開策として、ボトリングや都市部までの配送は、こういった過疎の村が担当し、マーケティングやブランドマネジメント、顧客開拓に関しては、都市部の企業が担当するといった、有機的な連携による HOD 事業を選択・実践し、今日に至っています。

## 株式会社 Beautiful Life の大台町での取り組み

そもそも天然水の安定供給には、産出地域全域住民の協力が不可欠となります。そのため、大台町に対

して森林資源保全事業への寄付や人的協力を行なっているだけではなく、本件や獣肉の流通にも携わっています。そのような取り組みにより、地域との良好な関係が構築され、地元農作物の配送など、新しい取り組みも始まっています。

また直接的な農山漁村と都市部住民の交流の場として、既存水事業顧客に対して、採水地である大台町へ「アクアセレクト体験ツアー」として平成16年より毎年1回実施しています。また既存水事業顧客以外にも、学習塾との提携および公募により小学生を中心とした農業体験キャンプ(平成20年)などを実施し、好評を得ています。

## 田んぼのオーナー制度開始のきっかけ

そもそも、「アクアセレクト体験ツアー」は、お客様がこれホントに天然水なの？水道水詰めてるんじゃないの？」とからかわれた事がきっかけで、アクアセレクトボトリング工場の見学と宮川村体験ツアーを実施することになったのです。ツアーは大成功でした。食の安全という観点や、子どもたちに体験をさせたいというご要望が強く、その後参加人数は徐々に増え、昨年平成20年度は約100名のご参加がありました。毎年、社員旅行として参加して下さる方もいます。そんな中、年に一度のツアーではなく、定期的に訪れる企画があればというお客様から意見が寄せられたことが、今回の「アクアセレクト田んぼのオーナー制度」へのきっかけとなりました。

(有) 森と水を守る会の門野社長の仲介で、役場産業課の寺添課長と西出さんをご紹介頂き、そこから



アクアセレクト田んぼのオーナー看板

浦谷地区区長さんの佐今(サコン)さんをご紹介頂き、話は進んでいきました。

## 田んぼのオーナー制度実施に 向けての目標としたこと

### ①宮川の農地保全対策として

宮川では、過疎化による後継者の問題や、日照時間や冷水の問題から稲作に適さないといった土地柄を理由に、稲作を放棄する農家が増えています。水田が放棄されると、地中の保水力がなくなり、生態系へ与える影響は大きく、おいしい水の生成条件を害する可能性もあるためです。

### ②食への安全・安心への取り組み

食への不信が高まる中、農業体験を通じて、「自らの手で作った食物」を食べるといった体験は、食への関心を高めることにつながると考えました。

### ③他HDO事業者との差別化

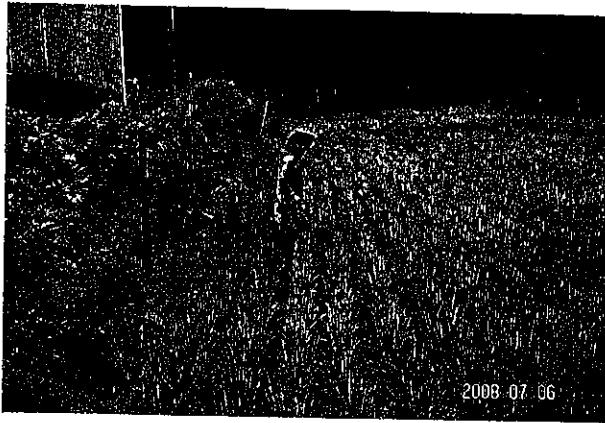
他のHDO事業が水道水をろ過したRO水が主流であることに対する、差別化を図ることができます。



田植え

## 田んぼのオーナー制度の内容

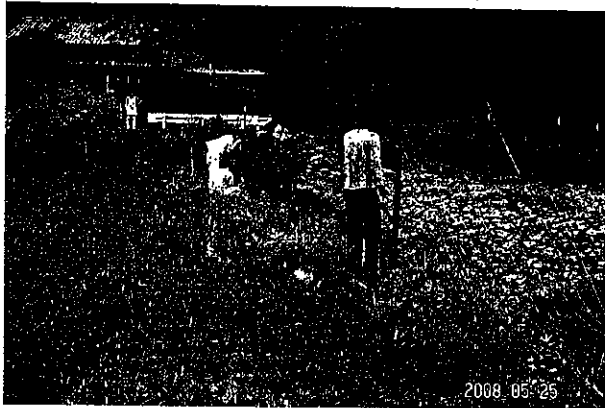
弊社が、町及び所有者との契約し、農作をやめた同町小切畑浦谷地区住民から田んぼを借り受けました。農作業体験は、アクアセレクトをご愛飲頂いているお客様から募集をした方です。その方々に1区画(玄米約10キログラムが取れる面積)のオーナーになって頂きます。田植えと稲刈りは必須参加イベントでそれ以外については、自由に参加してください、というスタンスです。



草取り (かぶれました)



手刈り



獣害除けの網と鎌での草刈



はざ掛けによる天日干し

たとえば、用水路の清掃、田んぼのくい打ちなども、同社社員及び募集した参加者で行い、地区住民に負担をかけないように取り組んでいます。

オーナー募集については、春先に行い、田植え、途中途中の工程、刈入れ時期など、それぞれにイベントを企画しています。この農業体験のほか、浦谷地区の季節の野菜や、山菜の収穫や試食のイベントを実施したり、また村との共同でのイベント開催を実施するなど、地域と一体となった取り組みを重視して進めています。

【提携先の(有)森と水を守る会の社員数の推移】

年度 (平成)	6年	16年	17年	18年	19年	20年	増加
正社員数	3名	6名	7名	7名	8名	8名	5名
パート数	2名	6名	6名	7名	7名	7名	5名
臨時アルバイト数	0名	0名	0名	3名	3名	3名	3名

第2に、雇用確保や、耕作放棄地の復活以外の、地域が抱える問題解決に向けて積極的に関わっていることが挙げられます。平成16年度に豪雨災害で被災した当該地域では、山腹崩壊や植栽放棄の森林による山の裸地化が深刻で、イオン・地元森林ボランティア主催の植栽事業に毎年全社員で参加しています。植栽だけでなく、深刻化する獣害に少しでも貢献できるよう、弊社既存顧客のホテルと地元猟友会とを仲介し、獣肉の流通を図っています。

第3に、これまで休耕田であった田んぼに稲穂が実るようになり、貸し出しに協力した地区住民からも「稲穂のきれいな風景がみられてよかった」との声があがっていることです。また、活動の様子や活動が新聞で報道されたこともあいまって、地区内住

## 地域の貢献

まず第1に本業である「アクアセレクト」販売増により雇用促進に貢献しています。(有)森と水を守る会の社員数の推移について、正社員3名・パート2名と、設立時(平成6年)から平成15年までは同数でありましたが、当社と提携した16年からは、現状正社員8名・パート7名・臨時アルバイト(夏季繁忙期の雇用)3名と、年々増加傾向にあります。

民からの評判もよく、所有する田んぼを活用してもらいたいとの声も出るようになってきました。

こういった大台町と深く関わることにより、発見できた地域特有の問題に対して、ともに解決していくという流れが出来つつあることは、大きな貢献ではないかと自負しております。

### 田んぼのオーナー制度の問題点

同社の水ブランドの向上という目的はあるものの、活動自体は社員のボランティアが中心となっております。この打開策として、例えば地域とより高い信頼感を醸成するためにもコーディネーター役として常駐することが望ましいと考えますが、そのような人材確保とコスト確保が難しく感じています。これらを含め、この活動の持続性を担保することが今後の課題となっております。

### 田んぼのオーナー制度の今後の展開について

弊社は、水販売を主な業務とする事業者ですが、取水地と顧客をつなげることにより、これまでの“生産者の顔が見える商品”よりも、“自らの目を見た土地で生産される産品”という、より安心感のある商品提供のビジネスモデルを構築していけるのではないかと考えています。これは、同社が販売する水のブランド力を高めると共に、地域の知名度が向上するなど、地域ブランドの向上という点についても期待できます。

最近では、田んぼオーナー制より育成したお米が、

顧客自ら苦労して育てたという経験も重なり、非常に評判がよく、顧客側の参加ニーズも高まっています。将来的には、この地区の農業活性化につながるよう、米やその他の農産物、畜産物における販売戦略を練っているところです。

【田んぼオーナー制にかかる費用・田んぼ 180 m <sup>2</sup> を2枚】	
①苗代	8,040 円
②肥料代	20,000 円
③農耕器具の軽油代	: 3,000 円
④宮川訪問交通費	: 10,000 円 × 8 回 (車台数による)
※作業に関わる農機具、備品等については借りる予定	
※農作業実費として、合計約 31,040 円～40,000 円の予定	
合計: 約 250,000 円程度	
●収穫	7 表半 (約 450 kg)

活動主体	
活動主体	株式会社 Beautiful Life
事業内容	ミネラルウォーターの企画・販売
所在地	-
社員数	社員数: 30 名
お問い合わせ先	株式会社ビューティフルライフ アクア事業部 〒465-0045 愛知県名古屋市名東区姫若町3-2 KTCビル3F TEL: 052-702-8173 メールアドレス: aqua@beautiful-life.co.jp
ウェブサイト	・株式会社ビューティフルライフ ( <a href="http://www.beautiful-life.co.jp/">http://www.beautiful-life.co.jp/</a> ) ・ウォーターサーバー レンタル・水の宅配-アクアセレクト ( <a href="http://www.aquaselect.jp/">http://www.aquaselect.jp/</a> )

(たけもと だいすけ)